

## 卒業感想

顧焯

2014年6月、中国の日系企業の通訳の仕事をやめて、10月に亜細亜友之会外語学院に来ました。中国で4年半も働いて、全て順調そうに見えるのに、どうして突然仕事をやめて、留学することを周りの皆が不思議に思っていたようです。今のままこの仕事を続けていても、自分の明るい将来像が見えないことは容易に想像できました。若いうちに、もっとチャレンジしてみたいと思って仕事をやめて日本に来ました。

日本語学校にいる一年半、多くのことを経験し、国内にいる3年よりも長く感じました。社会人からもう一度学生に戻って、勉強の楽しさを再び味わうことができました。純粹で善良なクラスメイトと楽しい一年半を過ごしました。

一旦社会の厳しさを経験して学校に戻り、単調ではあるものの、学習環境に癒されました。学校の先生とクラスメイトは皆優しくてよい人ばかりです。このような安心して勉強できるような環境を提供して下さった学校を感謝したいと思います。進路相談に乗ってくださった先生方、いつもそばに居てくださったクラスメイトの皆さん、本当に心からお礼を申し上げたいと思います。

中国で働いていたので、日本語学校で自分の能力をアップさせて、必ず日本で就職したいと考えていました。しかし、就職の道は決して平坦な道ではなく、色々な試練が待っていました。日本に来て半年位で、すぐ就職の準備を始めました。企業の説明会に参加したり、面接に行ったり、とても忙しい毎日を送りました。順調にやっている仕事をやめて、日本に来てこんな試練ばかりを受けて、一体何のためだろうと何度も考えさせられました。しかし、この道を選んだ以上はもう逃げ道がなく、最後まで突き進むしかありません。

様々な苦勞と挫折を味わい、最終的には3社の内定を頂きました。今までの苦勞は自分を大きく成長させるプロセスだと思えば、またどんな困難に立ち向かっても乗り越えられる自信が湧いてきました。人間の實力は決してどこかの有名大学の卒業証書ではないと思います。本当に實力があるというのは、どんな難局に立ってもなんとか打開でき、自信を持って目標を目指して突き進むことができる人のことだと思います。就職であれ、進学であれ、順風満帆に進むわけにはいかないと思います。困難を乗り越えて、苦勞をしてから得られた成果は価値があり、そして大きな意味があると思います。

皆さんも一緒に、それぞれの目標に向かって頑張りましょう。

2015年2月